

福井県民の消費者マインドは… 物価上昇が暮らし向きに大きく影響



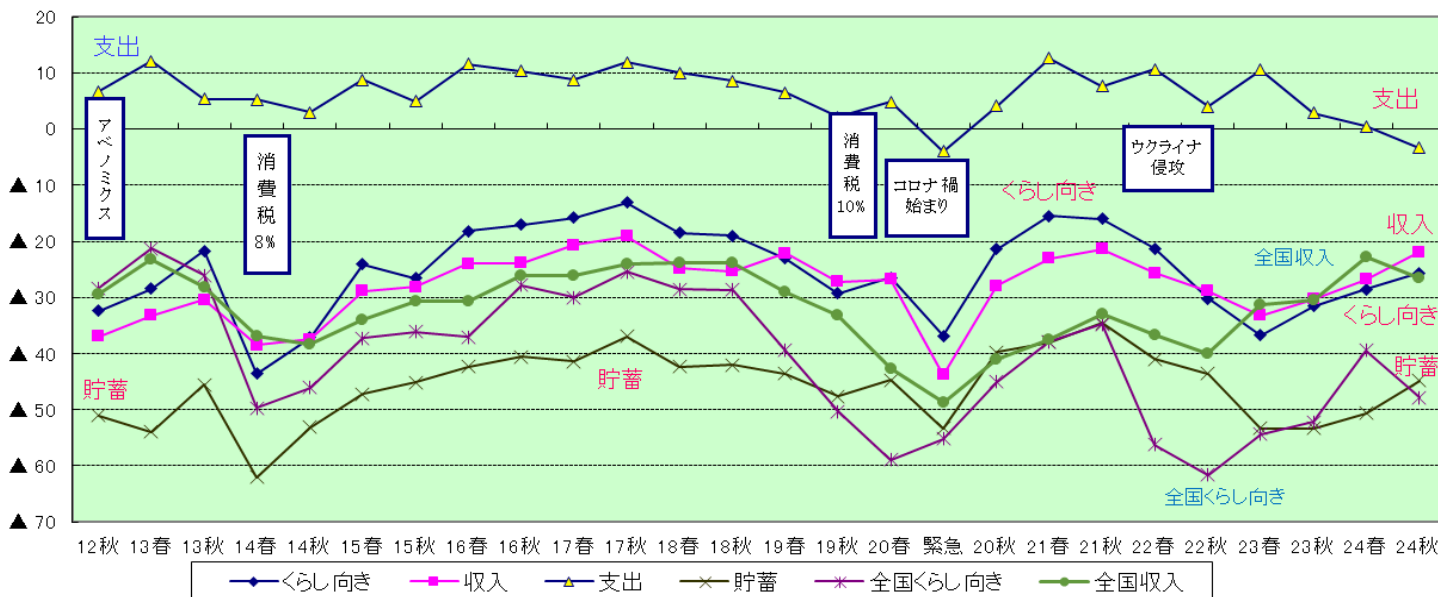
福井県内消費者に、半年前と現在の暮らし向きを比べた生活実感、および今後半年間の暮らし向きについて質問し、D.I.値（「良い」「やや良い」から「悪い」「やや悪い」の回答割合を差し引いた数値＝景気動向指数）の結果から、福井県民の今の消費者マインドが見えてきました。この紙面でお伝えできない調査結果はくらナビホームページで報告しています（<https://www.kuranavi.jp/reports>）ので、どうぞそちらもご覧ください。

- ①今後半年間の見通しについては、暮らし向き・収入・貯蓄の改善傾向が続く一方、支出のD.I.値は、過去2番目の低さになりました。おさまらない物価高の中、節約と生活防衛意識の強まりを表す結果となりました。
- ②前年と比較した現在（実質）の暮らし向きと収入も、ある程度の改善が見られました。
- ③「今後」と「実質」どちらにおいても、「収入」の状況より「暮らし向き」に慎重な見方をしていますが、生活の維持には節約が当然である状況が消費者マインドに影響し、不安と息苦しさを感じている様子がわかりました。

2024秋 今後半年間の暮らし向きなど

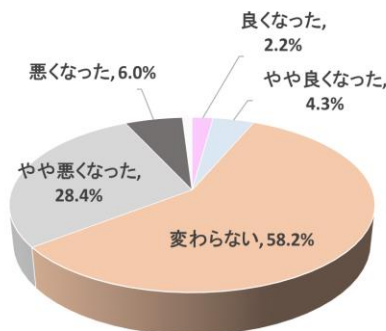
	暮らし向き	収入	支出	貯蓄
良くなる(増える)	1.0%	0.7%	7.5%	0.8%
やや良くなる(やや増える)	2.8%	5.5%	19.9%	3.5%
変わらない	65.8%	65.0%	40.3%	45.8%
やや悪くなる(やや減る)	23.9%	20.9%	23.4%	30.5%
悪くなる(減る)	5.3%	7.0%	7.3%	17.9%
無回答	1.2%	1.0%	1.7%	1.5%
D.I. 値	▲ 25.7	▲ 21.9	▲ 3.4	▲ 44.8

今後半年間の暮らし向きなど 過去のD.I.値推移

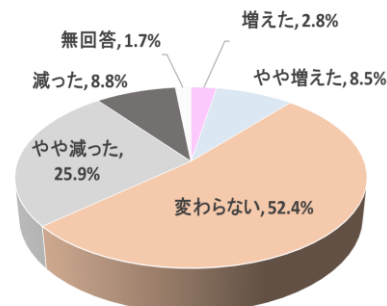


前年と比べた実質暮らし向きと収入の変化 D.I.値推移

実質の暮らし向き			
23年春	23年秋	24年春	24年秋
▲ 35.0	▲ 36.0	▲ 33.5	▲ 28.1
実質の収入			
23年春	23年秋	24年春	24年秋
▲ 30.7	▲ 30.9	▲ 29.1	▲ 23.8



24年秋 前年と比べた実質暮らし向き



24年秋 前年と比べた実質収入